

雌阿寒岳における地磁気全磁力変化*

Variation of Geomagnetic Total Intensity at Meakandake Volcano

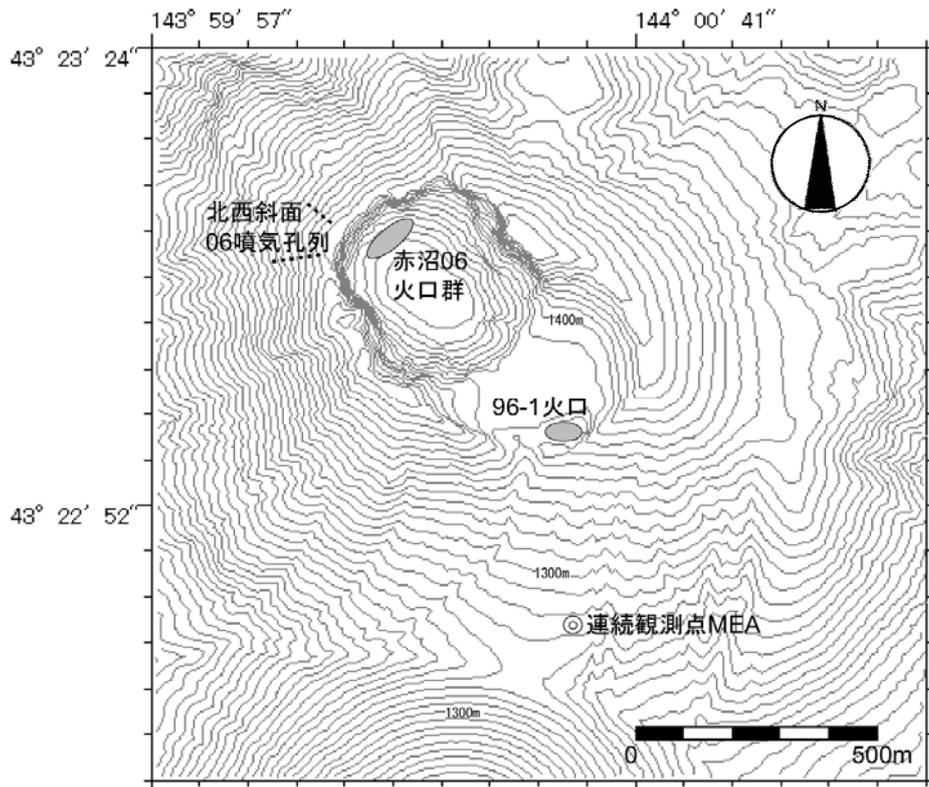
気象庁地磁気観測所

Kakioka Magnetic Observatory, JMA

雌阿寒岳における2009年9月から2009年12月までの地磁気全磁力変化について報告する。

地磁気観測所では、当該期間に連続観測点MEAにおいて全磁力連続観測を実施した(第1図)。

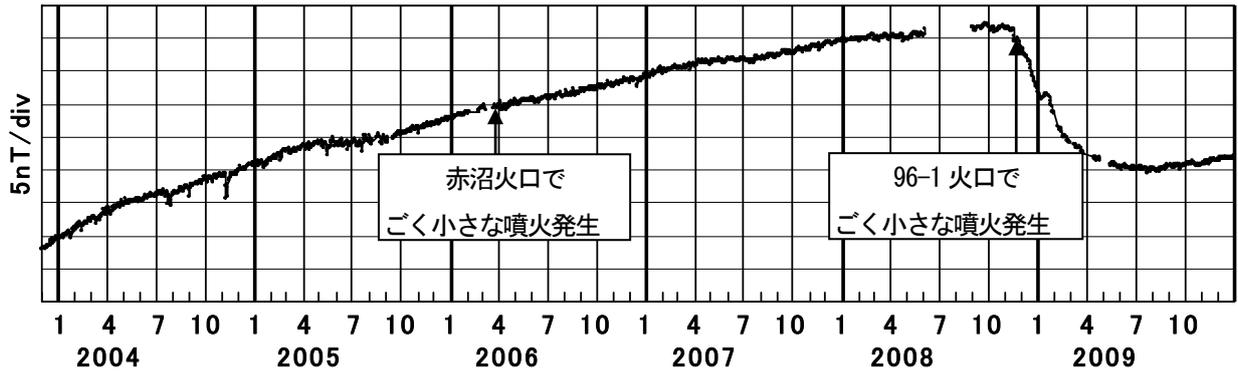
第2図に、2003年12月から2009年12月までのMEAにおける全磁力日平均値と参照点MMB(女満別出張所:北緯43度54.6分 東経144度11.3分)の全磁力日平均値との差を示す。2008年11月の噴火以降継続していた96-1火口南側斜面での全磁力の減少は2009年6月頃に止まり、その後全磁力が徐々に増加している様子が観測されている。このことから96-1火口南側斜面地下では温度上昇が止まり、徐々に冷却していると考えられる。



第1図 全磁力観測点配置図(◎連続観測点MEA)。等高線は10m間隔。

Fig.1 Location map of geomagnetic total intensity observation station. Continuous station is marked by ◎. The contour interval is 10m.

この図の作成にあたっては、国土地理院発行の『数値地図10mメッシュ(火山標高)』を使用した。



第2図 MEAにおける全磁力日平均値とMMBの全磁力日平均値との差(2003年12月~2009年12月)。

Fig.2 Differences of the daily mean values of the geomagnetic total intensities between the station MEA and the reference station MMB (from December 2003 to December 2009).